

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平6-500756

第2部門第6区分

(43)公表日 平成6年(1994)1月27日

(51) Int.Cl.⁸
B 65 D 67/02
71/12

識別記号 庁内整理番号
A 7191-3E
7191-3E

F I
B 65 D 71/ 00
B

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-500857
(86) (22)出願日 平成4年(1992)5月15日
(85)翻訳文提出日 平成5年(1993)2月10日
(86)国際出願番号 PCT/US92/04134
(87)国際公開番号 WO92/22471
(87)国際公開日 平成4年(1992)12月23日
(31)優先権主張番号 717, 788
(32)優先日 1991年6月14日
(33)優先権主張国 米国(US)
(81)指定国 E P (A T, B E, C H, D E,
D K, E S, F R, G B, G R, I T, L U, M C, N
L, S E), A U, B R, D K, F I, J P, K R, N
O

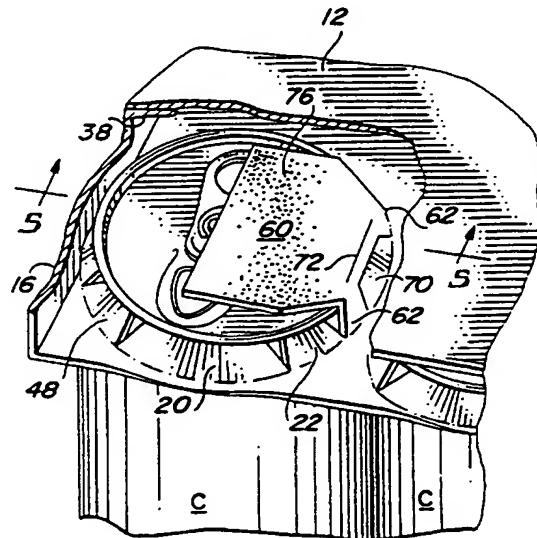
(71)出願人 リヴァーウッド インターナショナル コ
ーポレーション
アメリカ合衆国, 30339 ジョージア, ア
トランタ, スーツ 1600, カンバーランド
サークル 3350
(72)発明者 シュスター, リチャード リー
アメリカ合衆国, 71203 ルイジアナ, モ
ンロー, サセックス ドライヴ 220
(74)代理人 弁理士 岡部 正夫 (外5名)

(54)【発明の名称】 物品支持体

(57)【要約】

各飲料缶の頂部部分をつかみこれ等の缶を支持体本体
からつり下げるようした、飲料缶のような物品用の支
持体である。

各缶の上端部は支持体の底板の穴を貫いて延び、各缶
の出縁又は唇状部は、穴を囲む鎖錠舌状片に衝合する。
各連結フラップ区分により各缶穴の隣接して底板に折曲
げ自在に連結した接着フラップが各缶の上端部に重なる
ようにしてある。各連結フラップ区分に各缶を支えるの
に役立つ支持舌状片を設けることにより各缶を実質的に
全周にわたって支持する。



特表平6-500756 (2)

請求の範囲

1. 上面とこの上面に隣接する外方に突出する唇状部とをそれぞれ持つ複数個の物品を支える支持体において、

頂板と、

この頂板から間隔を隔ててこの頂板に各側板により連結され前記各物品の上部部分が貫いて延びる複数個の穴を形成した底板と、

この底板に前記各穴に隣接して折曲げ自在に連結され一般に前記底板に向かって延び協働する前記各物品の唇状部に面する複数の支持舌状片と、

少なくとも1個の物品の上面の少なくとも一部分に亘るラップと、

このラップの一端部に又前記底板に前記の互いに間隔を隔てた2つの支持舌状片間で協働する穴の周辺に隣接して折曲げ自在に連結した連結ラップ区分と、

前記の1個の物品の唇状部に前記の互いに間隔を隔てた2つの支持舌状片に面する部分間で面合し前記の1個の物品を支えるのに役立つようにした面合手段と

を包含する支持体。

2. 前記頂板を前記底板にその重なる端部に沿って接着し又前記ラップに接着した請求の範囲第1項に記載の支持体。

3. 前記の1個の物品の唇状部に面する面合手段を、前記連結ラップ区分のスリットにより形成した支持舌状片により構成した請求の範囲第1項に記載の支持体。

4. 前記連結ラップ区分の支持舌状片を前記の互いに間隔を隔て

た2つの支持舌状片からこのような各舌状片の幅に比べて比較的小い距離だけ間隔を隔てて、前記の1個の物品の唇状部をこの物品の周辺のまわりの互いに密接な間隔を隔てた複数舌状片に面するようとした請求の範囲第3項に記載の支持体。

5. 前記各物品を、それぞれ複数の物品を含む互いに隣接する2列に配置した請求の範囲第1項に記載の支持体。

6. 前記穴に隣接しそれぞれ協働する物品の上面の少なくとも一部分に亘るラップを備えた請求の範囲第5項に記載の支持体。

7. 各物品の少なくとも上部部分を円筒形にした請求の範囲第1項に記載の支持体。

8. 各物品を飲料缶とした請求の範囲第7項に記載の支持体。

9. 前記のラップ及び連結ラップの間の折曲げ自在の連結部分をスリットにより形成した請求の範囲第1項に記載の支持体。

10. それぞれ上面とこの上面に隣接する外向きに突出する唇状部とを持つ複数個の物品を支える支持体に形成することのできる素材において、頂板区分と

前記各物品の上部部分を受入れるようにした複数個の穴を形成した底板区分と、

前記の頂板区分及び底板区分の間でこれ等に折曲げ自在に連結した第1の側板区分と、

前記の頂板区分又は底板区分の一方に折曲げ自在に連結した第2の側板区分と、

前記第2側板区分に折曲げ自在に連結され前記の頂板区分又は底板区分の他方に亘りこれに接着するようにしたラップと、

明細書

発明の名称

物品支持体

技術分野

本発明は物品支持体に関する。ことに本発明は、物品の上部部分をつかみこれ等の物品を支持体本体からつり下げるようした物品支持体に関する。

背景技術

各物品を容易に持上げて運べるようにこれ等の物品の上部部分をつかむ支持体はよく知られている。飲料容器を運ぶのにこれ等の支持体を使うことは、とくに飲料缶に関してとくによく知られている。たとえば飲料缶出縫の真下の細くした頂部区域で飲料缶をつかむようにこれ等の飲料缶の頂部にはまる穴を形成したプラスチック材製支持体が使われることが多い。作るのに経済的であるが、このような支持体は若干の難点がある。指穴における薄いプラスチック材は、どのような時間にわたってパッケージを運んでも使用者の指に苦痛となる。さらに缶の頂部上に支持体を押付けることができるようになるに必要な薄い材料は、パッケージの重量を制限する。これ等の理由で、プラスチック材製支持体は、パッケージで6個以上の1.2オンス缶を運ぶには通常使われない。さらに、このような支持体の使用には、印刷される宣伝材料又はその他の指標に対する余地がない。さらに、廃棄されたプラスチック材製支持体は環境上の問題を生ずるものと見られている。

ポール紙製支持体は、各飲料容器を同様にすなわち容器の頂部部分をつかむことにより運ぶようにされ從ってつり下げた容器はこの

前記底板に前記各穴に隣接して折曲げ自在に連結され、前記各穴を貫く位置に動かされる物品により前記底板の平面から折曲げられ協働する物品の唇状部に面するようにした複数の支持舌状片と、

前記底板に前記穴の少なくとも1つに隣接して折曲げ自在に連結され前記の1個の穴を貫く位置に動かされる物品により前記底板の平面から折曲げるようにして、さらに前記物品の上面の少なくとも一部分に亘るよう下方に折曲げるようしたラップと、

このラップに協働し前記物品の唇状部に面合し前記の1個の物品の支持体支持に役立つようにした面合手段とを包含する支持体素材。

1.1. 前記物品の唇状部に面する手段を、前記ラップのスリットにより形成した支持舌状片により構成した請求の範囲第10項に記載の支持体素材。

1.2. 前記ラップの支持舌状片を各隣接支持舌状片から、このような各舌状片の幅に比べて比較的小さな距離だけ間隔を隔てた請求の範囲第11項に記載の支持体素材。

1.3. 前記各穴に隣接しそれぞれ協働する物品の上面の少なくとも一部分に亘るようしたラップを備えた請求の範囲第12項に記載の支持体素材。

1.4. 前記各ラップが協働する物品の上面の幅の少なくとも約半分に亘ることのできる長さを持つようにした請求の範囲第13項に記載の支持体素材。

つかみ点の下方では囲まれていない。このような支持体構造は、短い側板により底板から間隔を隔てた頂板を備え、各飲料容器の頂部を頂板及び底板の間に位置させる。各容器は、底板の穴を経て支持体に導入し、典型的には支持舌状片により保持する。これ等の支持舌状片は、底板から延び容器の出端又はその他の形の外向きに延びる舌状部の下側に接触する。ポール紙袋部から指を遮断するラップにより彼らからくした頂板の指穴により、支持体を不快感なしに、持上げて運ぶことができる。

この種のポール紙袋支持体は使用が快適であるだけでなく、これ等の支持体は極めて強く製造費が安く環境的に容認できる。さらに頂板を実質的に破れないように延びることにより印刷標識に対する広い空間が得られる。しかし若干の構造では容器リムを容器の全周にわたり支持舌状片に面合せることがむずかしくなる。たとえば、底板から上向きに延び容器頂部の一部に亘る接着ラップを設けこれ等のラップを底板に接着する位置に位置させる。このような接着ラップは、支持体の端部部分に沿って走る普通の重ね形の接着ラップを補足する。空間の制約により補助接着ラップを容器が貫いて延びる穴に隣接して底板に折曲げ自在に連結する必要があるから、ラップは各穴のかなりの円周方向部分をふさぎ、この場所で支持舌状片に対する余地がなくなる。この区域で容器の支持が行われないことは、支持体になくさなければならない潜在的な弱点となる。今までこの問題をなお別の問題を導入しないで経済的に修正する方法は知られていない。

発明の概要

支持体底板の穴を貫いて上部部分が延びる複数の作品を持上げて支える支持体は、底板に隣接して底板に折曲げ自在に連結した複数の支持舌状片を備えている。各支持舌状片は、大体頂板に向かって延び、協働する作品の頂部で外方に突出する舌状部に接触する。本発明によれば少なくとも1個の作品の上面の少なくとも一部分に亘るラップは、2つの互いに間隔を隔てた支持舌状片の間で協働する穴の周辺に隣接する連結ラップ区分により底板に折曲げ自在に連結してある。又舌状部を作品を支えるのに役立つように互いに間隔を隔てた2つの支持舌状片に面合する部分間で作品に面合せる手段を設けてある。舌状部を面合せる手段は、連結ラップ区分のスリットにより形成した支持舌状片から構成するのがよい。

連結ラップ区分に隣接する支持舌状片は、互いに間隔を隔てた2つの支持舌状片に亘る比較的わずかな距離だけこれ等の舌状片から間隔を隔て、作品の舌状部が作品の周辺のまわりにはば一律に延びる密度な間隔を隔てた支持舌状片に面合するようとする。

所望の結果を得ることのできる本発明の特長は以下好適な実施例について詳しく述べる。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の作品支持手段を備えた支持体の斜視図である。

第2図は第1図の支持体を形成する素材の平面図である。

第3図は支持体内の容器に面合する支持舌状片を示す拡大斜視図である。

第4図は第3図に示した支持体及び容器の部分側面図である。

第5図は第3図の5-5線に沿う断面図である。

第6図は第3図に示した支持体及び容器の部分平面図である。

実施例の説明

第1図に示すように支持体10は、側板16、18により底板14に連結した頂板12から成っている。缶Cの上部部分は、第1図には図示していない底板14の穴を貫いて延び舌状片20、22だけが図示された若干の支持舌状片により保持してある。各側板は極めて短いから頂板及び底板間で各缶を支える空間は極めて小さくなる。折曲げ線26に沿い頂板12に折曲げ自在に連結した舌状片24により塞った指穴は支持体を持上げやすくするように設けてある。

第1図に使ったのと同様な書類数字により同様な部品を示した第2図において支持体は、頂板区分12、底板区分14及び側板区分16、18に分割される素材30から形成する。側板区分18は、折り線32により頂板区分12に又折り線34により底板区分14に連結してある。側板区分16は折り線36により底板区分14に又折り線40により接着ラップ38に連結してある。

本発明による実示した支持体は6個の飲料缶を運ぶように作ってあるから、底板区分14に互いに隣接する3個ずつ2列の穴42を設け、これ等の穴は6個の隣接穴群を形成する。各穴は、穴の境界に一致する折り線に沿って底板に連結した1列の支持舌状片により取囲んである。すなわち各中間穴42は、この穴の互いに対向する側で折り線46に沿い底板14に連結した各支持舌状片20を持つ。支持舌状片20の外側には、折り線50に沿い底板14に連結した支持舌状片48が隣接している。又各舌状片48の間には、折り線

54に、沿い底板に連結した支持舌状片52を設けてある。各穴の反対側すなわち内部側で支持舌状片20に対し、折り線58に沿い底板に連結した支持舌状片56が隣接している。各舌状片56の端部と各舌状片30の端部の実質的な部分間とにはラップ60が延びている。ラップ60は、折り線64に沿い底板に連結した連結ラップ区分62を備えている。連続的に延びる折り線46、50、54、58、64は円形穴42の周縁部に一致する。各穴及び各折り線の形状は、円筒形の飲料缶を受入れるように円形にしてあるが、異なる形状の作品の横断面に対応する他の形状の穴を必要に応じて設けてもよいのはもちろんである。

各端部穴に対する支持舌状片構造は前記した内部穴に対するものとはほぼ同じである。1つのわずかな違いは、舌状片56に対応し支持体の端部に近い舌状片22は舌状片56より幅が狭く、支持体の各端部の大きい舌状片20は支持体の内部の舌状片20より長い。この構造により、各舌状片22、20を分離するスリットを、舌状片20を舌状片56と同じ幅の舌状片から分離するスリットよりも支持体の端部から一層離して位置させることにより、前記スリットの端部と支持体の端部との間の距離を増しこの区域における開けるおそれを減らすことができる。各舌状片はそれぞれの折り線から半周方向内方に種々の距離に延び舌状片20のような長い方の舌状片は短い方の舌状片48、52、22より一層離れて延びるが、素材から形成した支持体の舌状片はすべて協働する容器の舌状部に接触する。種々の舌状片長さは、これ等の舌状片を円筒形容器により底板の平面から押出した後、各舌状片の曲がりを考慮するだけでよ

特表平6-500756 (4)

い。

連結フック区分62内には、折り線64からわずかに間隔を隔てた点に始まりスリット68に出会うまで先後まりになるスリット66を設けてある。これ等の3つのスリットは、端部の開いた切頂三角形のような形状の舌状片70を形成する。スリット68から間隔を隔てスリット68と共に各側板区分16、18に平行に、各舌状片56の端部から各端部が間隔を隔てたスリット72を配置してある。指穴74は底板の内部区域で各穴42の間に設けられ各指穴74が支持体素材から形成した支持体の頂板区分12の指穴に整合するようにしてある。

使用時には第2図の素材は、それぞれ3個ずつ2列に配置した6個の隣接する缶の群の頂部に各穴が各缶に重なるように位置させる。各穴及び各缶の間の相対運動は底板区分に下向きの押圧力を加えることによって生ずる。各缶の頂部の相対上昇運動により、支持舌状片が缶の出縁の底部に衝突するまでこれ等の舌状片を押上げる。各舌状片の彈性又は記憶作用によりこれ等の舌状片を缶に向かって付勢し支持舌状片端部が缶出縁の下側に接触したままになるようとする。この状態は、協働する缶の出縁の下側に接触する穴の舌状片48、20、22を示す第3図及び第4図になお詳しく説明してある。図示のように各舌状片は、上向きに駆動することによってわずかに分離するが、なおこれ等の舌状片が缶出縁の隣接部分の周辺のまわりに実質的に連結した支持体を形成するように互いに密接な間隔を隔てている。

缶の相対運動により各舌状片を押上げるときは、フック連結区

分62も又駆動し、各スリット66、68により形成した舌状片70を内方に向かい付勢し舌状片端部が他の支持舌状片と同様に出縁の下側に接触するようとする。すなわち舌状片70は、接着フック60及び底板の間の連結により各舌状片間に空間が生ずることによって通常交換られない缶周辺部の実質的な部分を支持する。缶出縁の支持舌状片70との衝突は第5図に例示してある。支持体の頂板を除いてあるが接着フック60は図示した第6図に明らかのように、支持舌状片は缶の周辺の全体を支持する舌状片70がないと、缶周辺の実質的な部分が支持されない。

素材を缶頂部上方に下降させ支持舌状片を作動した後、素材は縦32、34、36、40に沿って折曲げ各側板を形成し頂板12の外縁部分を接着フック38に重ねる。この作用により接着フック60をスリット72により生成した折り線に沿い下方に最終位置に折曲げ各フック60が頂板の下側に接触するようとする。折曲げ作業に先だって、第3図及び第6図の点線により表わされ又第5図の横断面図に示した接着剤76は、接着フック38又は接着フック38に接触する頂板の区域に、そして接着フック60又は接着フック60に接触する頂板の区域に塗布する。

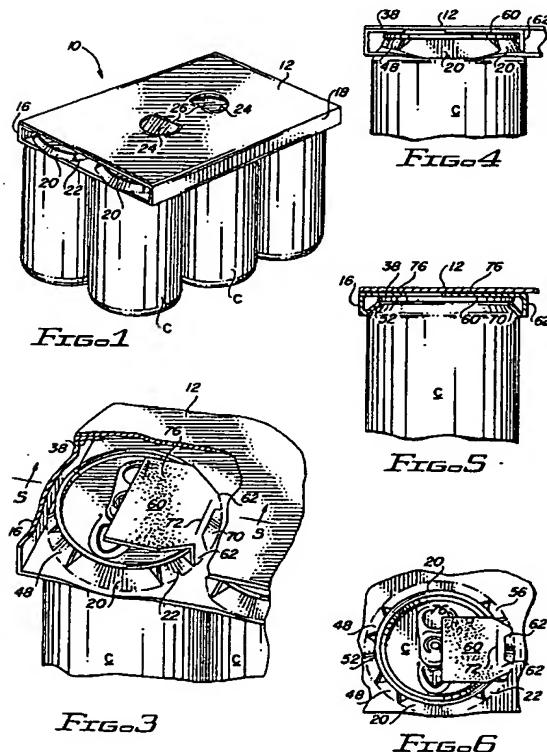
接着フック60は極めて長くし支持体内で各フックが缶頂部の中心の付近まで延びるようにしてある。このようにしていくつかのことが達成できる。すなわち頂板の底板への取付けを強めるように接着フック60の面積を最大にすることができる。又接着フック60及び頂板12の間のこのようにして得られる強い連結により底板に対する頂板12の「割れ目を生じ」又は溝曲を生ずる機会

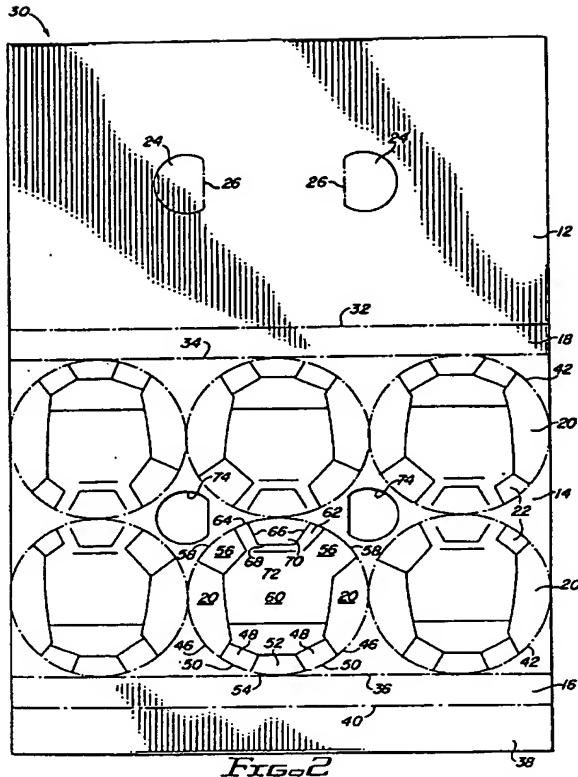
を減らす。さらにフックを缶の中心まで延ばすことによりこれ等のフックは、パッケージ間の缶の向きに關係なく第3図及び第6図に示した組付けの缶開き舌状片74に乘る。缶開き舌状片は缶頂部の台の上方に延びるから、この構造により接着フックを、短い方のフックより一層高い位置に一層水平の面内に保持し、頂板の接着フックへの接着時に十分な圧力を加えやすくなる。

缶のパッケージを持上げるには、使用者は頂板の指穴と底板の整合した指穴74とを経て單に指を挿するだけである。又これにより舌状片24が上下方向位置に押下げられパッケージを持上げて置ぶときに指に対する支持部として作用する。

本発明によりそれぞれ頂部部分により物品を運ぶようにしたボール紙製支持体の強さを増し各物品のほぼ全体をその全周にわたり支えることにより各物品をゆるまないように保護できるのは明らかである。本発明を6個の飲料容器を保持するようにした支持体について述べたが、本発明の原理が一層多い又は一層少ない個数の物品を保持するようにした支持体にも適用できるのは明らかである。

本発明は、その好適な実施例について述べた前記の詳細に必ずしも限定するものではなくて、本発明の全部の基本的機能及び考え方には変えない若干の変形変型を本発明の精神及び範囲を逸脱しないで行うことができるの明瞭である。





国際調査報告		International application No. PCT/US92/04134
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER (IPC): B41D 73/00 US CL.: 73/17		
Assignment to International Patent Classification (IPC) or to both national classifications and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Major fields searched (classification system followed by classification symbols)		
U.S.: 256/173 256/132		
Documentation searched other than patent documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category	Classification of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Reference or claim No.
A	U.S.A. 3,632,913 (Arment) 04 April 1973	
A	U.S.A. 3,722,945 (Woods) 27 March 1973	
A	U.S.A. 3,897,873 (Grauer) 03 August 1975	
<p><input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> One patent family exists.</p> <p>* Document of cited documents</p> <p>* Document published or presented after the international filing date or priority date and before the priority date or before the date of filing of the international application, which is not considered to be part of prior art.</p> <p>* Document published on or after the international filing date or priority date which may become prior art only if certain conditions are met.</p> <p>* Document which may become prior art only if certain conditions or other special criteria are specified.</p> <p>* Document published prior to the international filing date but later than the priority date or earlier than the international filing date.</p>		
Date of filing of the continuation of the international search		Date of mailing of the international search report
23 JULY 1992		21 AUG 1992
Name and mailing address of the ISA/US Commissioner of Patents and Trademarks Washington, D.C. 20231 Facsimile No. NOT APPLICABLE		Authorized officer Mr. WILLIAM L. PRICE TELEPHONE NO. (703) 308-0844
Form PCT/ISA/210 (revised edition July 1992)		